



# 苓南寮便り

No.016

2024.4.8

《発行》 社会福祉法人 北斗会  
障害者支援施設 苓南寮

〒863-0049 TEL: 0969-22-3393  
熊本県天草市北原町5-14 FAX: 0969-23-0746  
E-MAIL: reinan@miracle.ocn.ne.jp URL: http://k-hokuto.jp/

【苓南寮利用者数】

施設入所:38名/GH花しょうぶ:10名・花みずき:5名・花あおい:3名/通所:24名/合計80名

## お花見

昨年に続き、西の久保公園にて花見を行うことができました。天気にも恵まれ、満開の桜を眺めながらお花見弁当を頂きました。

4月から利用開始となった利用者の方も全員参加し、昼食後にはフリスビーやサッカー、バドミントンなど楽しんでおられました。

昨年度は久しぶりの利用者旅行を開催するなど、行事もコロナ前に近い形式で行うことができるようになってきています。意欲をもって日々を過ごして頂けるよう、作業の合間の行事にも創意工夫を凝らして取り組んでいければと思っています。

北斗会創立54周年、苓南寮開設54周年を記念し、苓南寮集会室にて式典を開催しました。星光園金澤武典園長よりご挨拶、また勤続10年を迎えた職員の永年勤続表彰を行いました。

## 祝 北斗会 創立54周年 記念式典 苓南寮 開設54周年





令和5年11月、北斗会文化展が開催されました。

1日のみの開催でしたが、久しぶりにステージイベントが復活し、コロナ禍以前の活気が戻ってきました！たくさんのお客様のご来場、ありがとうございました。



### 『苓南寮 基本方針』

苓南寮では、令和6年度から新たに苓南寮基本方針を立てました。

#### 1.人権尊重

私たちは、利用者の人権を尊重し安全を第一に考え、快適な生活が送れるように努めます。

#### 2.利用者主体のサービス提供

私たちは、一人ひとりの利用者の自己実現をめざし、利用者のニーズに基づく利用者主体のサービスを提供します。

#### 3.信頼性の確保

私たちは、サービスの質の点検と向上に努め、常に信頼を受ける存在となることをめざします。

#### 4.職員の資質・専門性の向上

私たちは、社会福祉及び経済活動の専門性を高めるため、専門職としてたゆまぬ自己研鑽（研究）に努めます。

#### 5.施設・事業所経営の透明性の堅持

私たちは、計画性をもった健全で活力ある施設・事業所経営に励むとともに、情報公開に努め、施設・事業所経営の透明性を堅持（固守）します。

#### 6.地域福祉の推進

私たちは、施設・事業所の専門性を生かしながら、地域社会の一員として、積極的に地域福祉を推進します。

#### 7.職員と利用者ともに歩む

私たちは、利用者に希望と勇気を与える支援を心掛けるとともに、利用者から元気と癒しを頂く思いを心掛けます。

この7つの基本方針は、苓南寮の目指すべき姿を職員は基より、利用者のみなさんや保護者の方、関係機関の方々等、誰が見ても分かり易くとの思いで立てたものです。

そして職員一人ひとりが自分の仕事に対する目標を持ち、将来の職員像を考え目指せるようにしたもので、苓南寮職員は、この基本方針の誠心で職務遂行に当たります。

ウォークラリー  
＆地域清掃活動



10月

11月



天草中央  
ロータリークラブ  
ポッチャ大会

行事  
の様子

イルミネーション見学



昨年秋以降の  
行事の様子です。



12月

出前講座 R6.2.22  
「感染症対策」

▼手洗い後に残った手の汚れを確認中。十分汚れを落とすには、かなり念入りな手洗いが必要です。

2月の出前講座では感染症対策に関するお話を伺いました。感染症がどのようにして感染拡大するのか、どのように過ごすことで防ぐことができるのかなど、手洗い等の実践を交えながら、わかりやすくお話いただきました。



新職員紹介

4月に新たに入職となった職員の自己紹介です。  
よろしくお願いたします。



クリーニング部に入職しました大寺翼です。

未経験のためわからないことも多くありますが、同時期に入ってきた若い利用者の方たちにも負けられないように頑張っていきたいと思っております。一人一人と交流できるようにしたいと思っておりますので声をかけてもらえると嬉しいです。





『熊本DCATでの活動を終えて』 生活支援員 鶴田千恵

3/4月(3/9日土)、石川県輪島市へ熊本DCAT(災害派遣福祉チーム)の一員として活動してきました。初日と最終日は移動と引継ぎで、避難者の方達と関わるのは実質4日間でした。今回行った輪島中学校には、校舎棟、体育館2棟合わせて320名が避難されていて、3か所を歩いて回り、ダンボールのインスタントハウスから出ている人に話を聞いて情報を集めました。その中で気になる事があればチーム内で共有、輪島市への報告をパソコンで行うという流れで、要支援者をピックアップし、必要な支援へと繋げる業務を行いました。

避難者の皆さんも2か月一緒に居る事で「自分達の事は自分達で」という気持ちがあり、協力して生活していらっしかったです。昼間は仕事で出掛ける人が多く、日中は女性と高齢の方が殆どでした。

活動期間中、他の避難所で自死をされた方がいたという情報が入りました。避難所生活に慣れ、今後の事を考えて悲観的になる時期だと思われ、見回りの声掛け強化の通達がありました。

輪島市では輪島中学校が1番大きな避難所という事もあり、著名人の慰問もありました。避難者の方達だけでなく支援に来ている私達も元気を貰いました。

4日目の16時頃、教室でミーティング中に下からドンドンと突き上げるような余震が有り凄く怖かったです。避難者の皆さんは「あれくらい何ともないよ」と笑ってらっしゃったので、本震がどれ程のものだったのかと考えさせられました。

宿泊先の旅館の周りの家は潰れ、中学校までの道路が半分崩れるなど、とても悲惨な状態でした。宿泊先は水も出ないと聞いていましたが、当日に水が出て、次の日にはシャワーが、3日目には湯船に浸かる事が出来、日中の疲れも取れ、とても有難かったです。

苓南寮での業務を1週間離れることにはなりませんが、とても良い経験をさせて頂き、有意義な時間を過ごさせてもらいました。

今回、苓南寮便り第16号を発行致しましたので、どうぞご覧下さい。

尚、本紙掲載の写真や記事につきましては、個人情報保護法に基づき、利用者の承諾を得て掲載しております。